

園だより

2021年8月



園長 堀内しほ子

園長先生の一言

梅雨が明け、暑くなってまいりました。園庭にも蝉の鳴き声がしていました。子ども達は水を流して川を作ったり、温泉と言って水溜まりで楽しく過ごしています。年少さんも友達を誘ってお店屋さんごっこや砂山を作ったりと、遊びの幅も広がってきました。気持ちが合わなかったり時には泣いているお友達がありますが、好きな遊びを通して友達との関係を広げたり、深めたりしてコミュニケーションの取り方を学んでいきます。年中さんも夏野菜を育て、たくさんの実がなりました。きゅうりは育ちがよく巨大きゅうりになり、ミニトマトも赤なくなってきました。なすは3種類を植えてみました。細長いなす、丸いなす、普通のなすです。食べられる形になったのは細長いなすだけでした。農家の人達がおいしく育てるのは手間をかけ苦労していると思うと感謝しなければと思いました。年長さんはお泊り保育に出かけられなくなりましたが、自然に触れたり、友達同士、力を合わせて目標を達成する喜びを感じたり、体力をつける様集団遊びをしています。今年の夏休みも家庭で過ごす時間が多くなりそうです。御家庭に三声（話し声、笑い声、歓声）があるといいと言います。長い夏休みになります。病気、事故にはくれぐれも気をつけて下さい。まだまだコロナ禍で大変ですが、お互いかからない様、気をつけましょう。